日本都市計画学会　研究交流分科会

「海外の都市開発分野における産学官の連携のための交流分科会」

活動成果報告書

2019.04-2022.03

本分科会の概要

分科会名称：日本都市計画学会　社会連携委員会研究交流事業

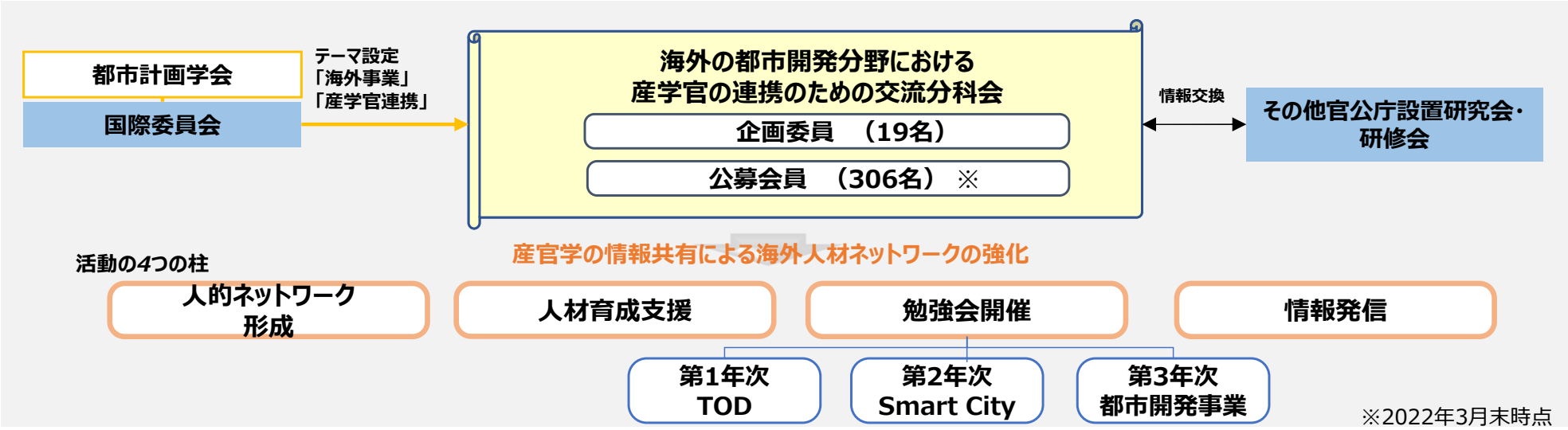
海外の都市開発分野における産学官の連携のための交流分科会

活動期間　：2019年4月～2022年3月（3年間）

目的

国際競争が激化する状況下で**我が国の質の高いインフラシステム輸出を実現**するため、**都市開発分野における産学官の連携を強化**することで、持続的かつ安全で、先方国のニーズに合った**都市開発の技術・知見の助言**、**ネットワークの形成**を図ることを目的とする。本活動の成果は**SDGsの達成へ寄与する**ものとする。

組織体制



※2022年3月末時点

活動の4つの柱

1. 人的ネットワーク形成

- 我が国と、海外の産学官との人的ネットワークをこれまで以上に拡大・深化することで、将来において海外都市開発を我が国と対象国の間で連携して取り組むなど**都市インフラシステム輸出の実現に向けた効果的な情報共有・意見交換や事業組成の基盤となるプラットフォームの基礎**としていく。

2. 人材育成支援

- JICA、国交省、本学会を始めとする関連学会等では、都市開発分野の研修会、セミナー、留学などにより数多く海外人材の育成に取り組んできている。
- 本活動では、これらの既往の人材育成の場の一部を対象に設定し、産学官の連携による都市開発分野の海外人材の育成支援を行う。対象とする人材育成の場では、我が国の計画制度・技術に関する一方通行の講義等だけではなく、先方国のニーズに合った我が国の技術・知見の確認等を通じて**インフラシステム輸出につながる相互の意見交換の機会の形成**を試みる。

3. 勉強会開催

- 海外の都市開発分野における重要なテーマに関して、産学官の立場から国際的な潮流、技術動向、我が国の技術・知見、そして強み、ねらい・方向性等について情報共有・議論を行い、**海外の都市開発分野において産学官が進むべき方向性の共通認識を持つ**。
- 勉強会の成果は、オープンシンポジウムや全国大会（学術研究発表会）等にて情報発信を行うとともに、既述した活動(2)の人材育成支援にも活用する。

4. 情報発信

- 本会（人的ネットワーク形成、人材育成支援、勉強会開催）で得られた**成果を広く国内外に周知**する。

企画委員（10名）

		名前	種別	所属・職
1	代表	岸井　隆幸	学	一般財団法人計量計画研究所　代表理事／日本大学理工学部　特任教授
2		中井　検裕	学	東京工業大学　環境・社会理工学院　教授
3		西浦　定継	学	明星大学　建築学　部建築学科　教授
4		志摩　憲寿	学	東洋大学　国際学部　国際地域学科　准教授
5		石田　康典	官	国土交通省　都市局　国際室長
6		東　智徳	官	国土交通省　都市局　都市計画調査室長
7		讃井　一将	官	(独)国際協力機構　社会基盤部　次長
8		安藤　誉和	官	(独)都市再生機構　海外展開支援課長
9		田中　亙	産	(株)日建設計　執行役員
10	兼事務局	平野　邦臣	産	日本工営(株)　開発計画部　部長

公募会員（306名）

- **産（155名）**：コンサルタント、設計会社、デベロッパー、ゼネコン等
- **学（74名）**：学識経験者、学生等
- **官（77名）**：国土交通省、国際協力機構（JICA）、都市再生機構（UR）、自治体等

主な活動（2019年4月から2022年3月）

	開催日時		内容
1年次	1-1	2019年 5月14日	オープンシンポジウム
	1-2	2019年 6月 5日	第1回企画委員会
	1-3	2019年 8月28日	2019年8月勉強会 <テーマ：TOD>
	1-4	2019年 9月30日	2019年9月勉強会（共催：第1回国際交流セミナー） <テーマ：SDGs>
	1-5	2019年10月 2日	第2回企画委員会
	1-6	2019年10月 8日	ASCNハイレベル会合 <分野別ワークショップ 都市計画・開発>
	1-7	2019年10月28日	JICA都市計画総合研修
	1-8	2019年11月10日	日本都市計画学会全国大会ワークショップ
	1-9	2019年12月22日	アジア・アフリカ都市計画研究会ワークショップ
	1-10	2020年 1月15日	2020年1月勉強会 <テーマ：MaaS>
	1-11	2020年 3月27日	第3回企画委員会 （※COVID-19の影響のため書面開催）
2年次	2-1	2020年 4月23日	2020年4月勉強会 <テーマ：中国の動向>
	2-2	2020年 7月21日	2020年7月勉強会 <テーマ：COVID-19>
	2-3	2020年 9月 7日	2020年9月勉強会 <テーマ：スマートシティ>
	2-4	2020年12月15日	日・タイオープンシンポジウム
	2-5	2021年 2月12日	2021年2月勉強会 <テーマ：スマートシティ>
	3-1	2021年 4月19日	2021年4月勉強会 <テーマ：スマートシティ>
	3-2	2021年 7月13日	第4回企画委員会
	3-3	2021年 8月27日	2021年8月勉強会 <テーマ：都市開発事業>
3年次	3-4	2021年10月28日	JICA都市計画総合研修
	3-5	2021年11月11日	2021年11月勉強会 <テーマ：都市開発事業>
	3-6	2022年 1月20日	第5回企画委員会（書面開催） ＊活動報告スライドは省略
	3-7	2022年 3月 9日	2022年3月勉強会 <テーマ：都市開発事業>
	3-8	2022年 3月25日	タイシンポジウムフォローアップ・若手プランナー交流会

オープンシンポジウム

海外への都市開発分野の展開と産学官の連携可能性―SDGsの実現に向けて

(1)岸井隆幸教授（日本大学）「新興国の都市開発課題と今後の産学官連携の可能性」
(2)川久保俊准教授（法政大学）「SDGs の考え方と今後の都市開発分野に求められること」
(3)増田裕一郎氏（国交省都市局）「本邦都市開発の海外進出を取り巻く状況と展開」
(4)三條明仁氏（国際協力機構）「都市計画・開発分野における今後の産官学連携のあり方」
(5)佐々木克憲（UR都市機構）「UR の海外展開支援の取り組み」
(6)青木伸朗（鹿島建設）「海外での都市開発事業の取り組みと課題」
(7)パネルディスカッション

勉強会

↑**【第1回】**中村文彦氏
（横浜国立大学副学長・教授）
テーマ「Transit Oriented Development（TOD）と関連論点」

【第2回】松本忠氏（OECD）
テーマ「持続可能な開発目標（SDGs）への地域的アプローチ」↓

↑**【第3回】**
石田東生氏（日本大学特任教授・筑波大学名誉教授）　テーマ「新しいモビリティサービスとSociety5.0・スマートシティ」
牧村和彦氏（（一財）計量計画研究所 業務執行理事）　テーマ「MaaS の現在と未来」

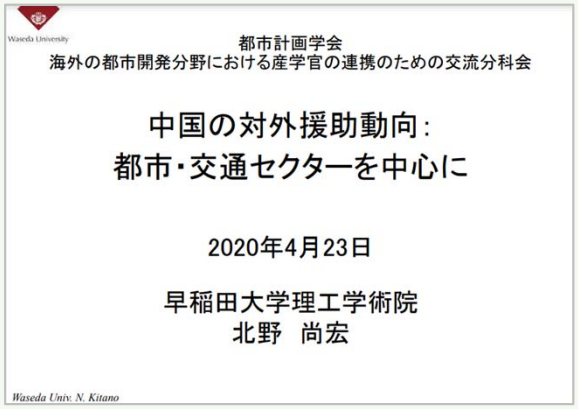
研究交流分科会　2年目の主な活動(1)

オープンシンポジウム

タイと日本の都市開発分野の連携に向けて

(1)登壇者による話題提供：日本・タイにおける産官学それぞれから見た都市開発事業について
　Nattapong Punnoi氏（チュラロンコン大学）
　Chukhwan Nilsiri氏（バンコク都都市計画局）
　Supapan Sa-ngasri氏（TEAM Consulting Engineering and Management PLC）
　西浦定継教授（明星大）
　黒水公博氏（JICA専門家/横浜市）
　徳澄渉氏（泰国三菱重工業株式会社）
(2)パネルディスカッション
　　※3年次に同シンポジウムフォローアップを開催

勉強会



↑**【地域勉強会：中国】**
北野尚宏氏（早稲田大学理工学術院国際理工学センター 教授）
　テーマ「中国の対外援助動向：都市・交通セクターを中心に」

【地域勉強会：世界】新型コロナウイルスが世界的に流行する中、海外諸国の最新動向を、現地駐在者から報告

森川直樹氏（ポリス大学都市計画・環境マネジメント学部客員教授／JICA社会基盤部テクニカルアドバイザー）　「現地報告：アルバニア」

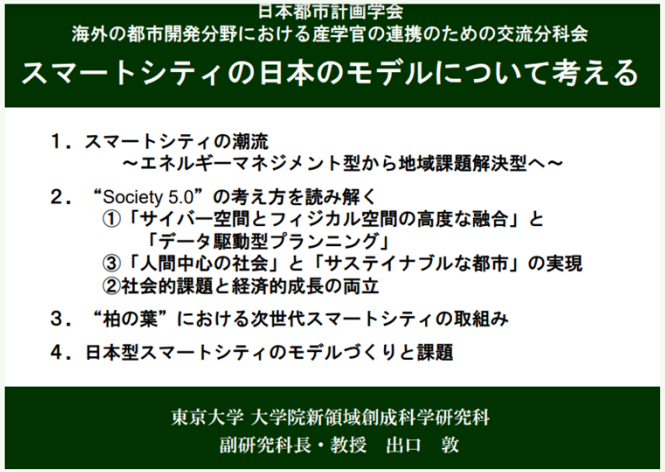
松本忠氏（OECD都市・都市政策及び持続可能な開発課　持続可能な開発・グローバル関係ユニット長）　「現地報告：パリ」

呉東建氏（ベカメックス東急社長）
「現地報告：ホーチミン」

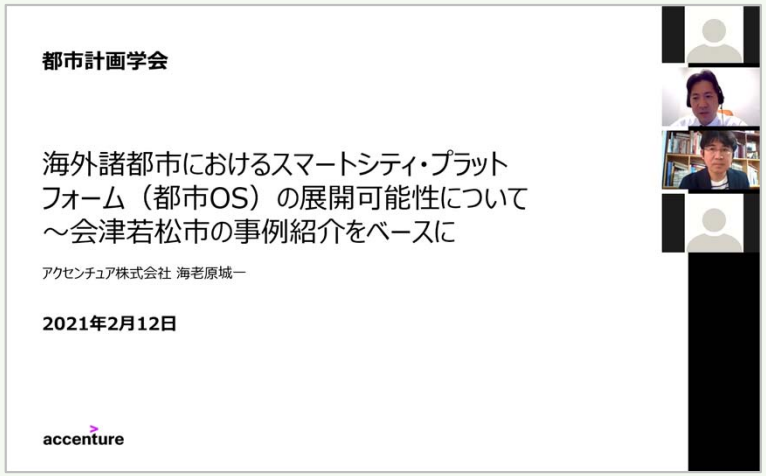
金昭希・ミンソン氏（アジア工科大学都市環境マネジメント学科助教授）　「現地報告：バンコク」

研究交流分科会　2年目の主な活動(2)

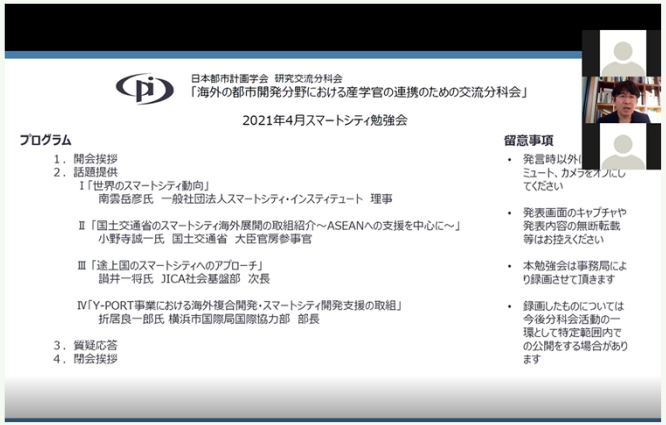
勉強会（スマートシティ・シリーズ）



↑**【第1回】**
出口敦氏（東京大学大学院新領域創成科学研究科副研究科長・教授）
テーマ「スマートシティの日本のモデルについて考える」



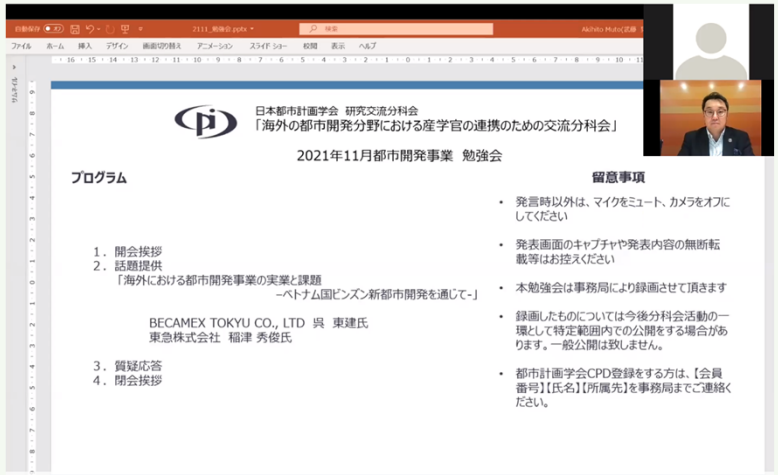
↑**【第2回】**
海老原城一氏 福山周平氏（アクセンチュア株式会社　ビジネスコンサルティング本部 公共サービスグループ統括　マネジングダイレクター）
テーマ「海外諸都市におけるスマートシティ・プラットフォーム（都市OS）の展開 可能性について～会津若松市の事例紹介をベースに～」



←**【第3回】**
南雲岳彦氏(一般社団法人スマートシティ・インスティテュート　理事）
テーマ「世界のスマートシティ動向」
小野寺誠一氏（国土交通省総合政策局　官房参事官）
テーマ「国土交通省のスマートシティ海外展開の取組紹介～ASEANへの支援を中心に～」
讃井一将氏（JICA社会基盤部　次長）
テーマ「途上国のスマートシティへのアプローチ」
折居良一郎氏（横浜市国際局国際協力部　部長）
テーマ「Y-PORT事業における海外複合開発・スマートシティ開発支援の取組」

勉強会（都市開発事業・シリーズ）

↑**【第1回】**
宇都正哲氏（東京都市大学　教授
　テーマ「都市開発事業の海外展開における課題-ビジネスの現場で何が起きているのか-」



↑**【第2回】**
呉東建氏（ベカメックス東急　社長）
稲津秀俊氏（東急株式会社　国際戦略室プロジェクト統括部）
　テーマ「海外における都市開発事業の実情と課題―ベトナム国ビンズン新都市開発を通じて―」

←**【第3回】**
佐谷説子　㈱海外交通・都市開発事業支援機構　事業推進部次長
「民間企業による海外都市開発への貢献と課題」

JICA都市計画総合研修（1年次・3年次実施）

日本都市計画学会全国大会ワークショップ（1年次実施）

アジア・アフリカ都市計画研究会（1年次実施）

活動の振り返り

本活動「海外の都市開発分野における産学官の連携のための交流分科会」は、日本都市計画学会の社会連携委員会研究交流事業として採択され、2019年4月-2022年3月の活動として10名の企画委員を中心にして活動が開始されました。そして、3年間の活動を通じて、同テーマに賛同する産学官の関係者にご参画いただき、300名を超える公募委員により構成される大きな活動組織となりました。

活動の2年目以降は、新型コロナ感染症により各種活動が制限を余儀なくされたものの、オンライン会議等の手法を用いることにより、海外関係者との交流も含めて可能な限りの活動を実施しました。具体的には、人的ネットワーク形成、人材育成支援、情報発信、勉強会開催という4つの活動の柱に基づき、計2回のオープンシンポジウムの開催（国内交流、タイ交流）、毎年メインテーマを設定した計11回の勉強会の開催、学会全国大会への参加、JICA課題別研修への参加などを行いました。

海外の都市開発分野において、「産学官」、なかでも学識経験者と連携しながら海外展開に向けた検討を進めてこれたことが本活動の特徴といえます。そのような検討活動を通じて得られた教訓・課題は様々あり、日本の強み・経験・技術と何か、長期的な視点での人材育成・人材交流はどうあるべきか、現地のリアルな課題をリアルタイムにどのように把握するのか、海外の都市づくりの企画から運営まで一貫してどのように携わっていけるのか、など今後も検討すべき事項は多く残されています。引き続き、同テーマに基づく産学官の継続的な連携が期待されます。

分科会企画委員兼事務局　平野邦臣

総　括

この3年間の研究交流分科会活動に対し、産官学それぞれの分野から大変多くの方にご参加を頂きました。
海外都市開発分野に対する「領域を超えた関心の高さ」を感じるとともに、逆にこれまで学会として十分な活動が行われていなかったのかなあ、と反省もしているところです。
我々としてはこの歩みを止めることなく、さらに前進してゆきたいと考えています。
引き続き、こうした学際的・国際的・実践的な連携活動を拡大すべく努力いたしますので、これまで以上に積極的な参加をお願いしたいと思います。

分科会代表　岸井隆幸

海外の都市開発分野における産官学連携を強化することを目的に、日本都市計画学会研究交流事業（研究交流分科会）
「海外の都市開発分野における産学官の連携のための交流分科会（2022年4月～2025年3月）」を新たに採択頂きました。
企画委員・公募会員の皆様には、引き続きのご協力を賜りたく、何卒宜しくお願い申し上げます。